



大みか 第119号 2020・3・20 市民報

発行 日立市大みか学区
コミュニティ推進会
会長 小松信保
編集 地域活動局
広報部
☎53-5211

今年も大みかの町を元気に！

令和になってはじめての賀詞交歓会開催

1月11日(土)大みか交流センターを中心に活動している各種活動団体の有志75名の参加で、交流センターで賑やかに開催された。主催者代表として小松大みかコミ推会長から、令和の大みかの町は元気な町ですと内外にアピールをして頑張ります、と挨拶。

来賓の石井市議からは、大みか駅西口東口の完成は3月末、南部消防署は4月運用予定、駅前シティーロードの電線地下化工事は4月以降に始まり、いずれも予定どおりと。鈴木大みか小校長と飯島泉丘中校長からは、両校とも各種学力テストで日立市、茨城県の平均を大きく上回り成績が良い。これは魅力ある大みかの町で育っているからだと思うと。創立73年目となる

茨城キリスト教学園は、今回初めて賀詞交歓会に参加。鈴木理事は、夏祭りや幼児ケアなど学生の参加を通じて地域への繋がりがより深くなっていますとのこと。

歓談後の抽選会は、今回初めてビンゴゲームで行われ、早くビンゴになればよいわけではなく、また順に抽選箱に手を入れて・・・となり大変盛り上がりしました。特等賞は二人分の食事券でした。

最後にピアノ伴奏つきで「年のはじめのためしとて」の「一月一日」の歌を全員で軽やかに歌って、東京オリンピック開催の年の賀詞交歓会は終了しました。



かんぱい！交歓会の始まり

子どもの笑顔に満足

餅つき大会開催

1月19日(日)午前9時より餅つき大会が小学校体育館前で開催され、餅と豚汁が午前11時より昼食として子ども達に提供された。

体育館で子ども会育成連合会主催の正月遊びがあり参加者は180名以上の大盛況でした。又、キリスト教大学のベトナム人留学生2名の体験参加もあり、日本の餅つ



コネてコネてそれからベツダン

き体験を通じ、青少年育成部のメンバーと交流を深めました。

校長先生は餅つきに活躍し、生徒から大きな声援をもらって楽しい会でした。 青少年育成部

歳神様を迎える準備

門松作り開催

12月15日(日)午前9時より、大みか小学校体育館前で恒例の門松作りが行われ、小学校校門と交流センター玄関に飾りつけた。子どもたちは体育館でミニ門松を作りました。作業終了後、温かい豚汁をいただきました。子どもたちのミニ門松作りは、毎年貴重な体験となっています。 文化体育部

もしかしたら！で余裕を持って

地域安全講話開催

12月7日(土)朝9時30分より交流センターで日立警察署大みか交番山形所長による講話が約30名の参加で開催された。

○交通事故

・横断歩道での事故防止

まつ、みる、むりしない、めだつ、もしかしてと、考えて行動する事が必要です。

・運転手の事故防止

交通ルールを守ること、かもしれ

ないと危険予知を考えて運転を心がける事が必要。

・自転車事故防止

交通ルールを守ること、自転車は歩行者に対しては加害者になる。

○特殊詐欺

日立市での令和元年の被害額は3572万円です、高齢者の女性が多いです。注意することは、現金や通帳カードを渡さない・現金を送らない、振り込まない・電子マ



大みか交番所長 山形警部補

ネーギフト券も注意です。

○その他、空き巣・車上ねらいも発生しています注意してください。

安全講話は大みか交番との交流の場です、次回は多数の参加をお願いします。 防災防犯部



聴きいる参加者

2月22日(土)大みか交流センターで、防災防犯部主催の防災講話が約40名の参加で開催された。

講師には臨港消防署から大みか小学校出身の内山翔太消防士が来てくれた。東日本大震災の経験を中心に水害対策などを含め忘れてかかっている震災発生時の対応策、心がまえについて講話を聞いた。



3.11 東日本大震災を忘れるな!

防災講話を実施

一番大切なのは「自助」自分の命は自分で守る!ことで、自分自身が無事であれば、次に「共助」に進める。協力や助け合い、そのためには日頃のご近所対合いが大切です、「公助」は遅れます。

最低限の備蓄も必要です、特に携帯ラジオは正しい情報入手する手段として準備して下さい。

3月7日に東海原発の見学会が計画されていたが、コロナウイルス対策で後日中止になった。大み

かでは津波などで東海原発の放射線洩れ事故が一番怖いです。避難準備も忘れずに。 防災防犯部

牛久大仏・茨城空港への旅中止

2月21日予定されていた大みか大学の野外学習は中止しました。中国武漢市発生源の新型コロナウイルスの感染防止策として自制しました。早くウイルスが終息することを祈ります。 生涯学習部

アンサンブル・スケルツォによるクリスマスコンサート開催



演奏にあわせてみんなで『もみじ』の合唱

12月6日(金)、大みかにある茨城キリスト教大学の佐藤希久雄教授とオーケストラアンサンブルスケルツォ(日立市及び近隣在住の音楽愛好家で編成)の素晴らしい

演奏会がクリスマスの前に交流センターでありました。

生演奏の音色が、一階ホールにきらびやかに響き魅了されました。

楽器の紹介の後は美しい音色に合わせ皆と一緒に合唱し、出だしは「もみじ」から「たき火」お薦めの中島みゆきの「糸」へと心温まるひと時を過ごしました。

花束贈呈後のアンコール曲は葉加瀬太郎の「情熱大陸」で、拍手喝さいを浴びました。

主催は生涯学習部 取材 広報部



調理室もきれいになった

〇暮れの大掃除実施

12月1日(日)朝9時より、利用者団体のメンバーと交流センター協力員、コミ推の役員50数名が協力して室内掃除とセンターの外廻りの草取り、花壇の手入れ、外壁の洗浄と排水槽の掃除を実行した。利用者団体の会長の挨拶は「自分達が何時もお世話になっている会館を綺麗にする気持ちでお願いします」との事でした。



〇北海道物産即売会開催

12月24日(火)朝9時より旧志んやビルにて元気会の主催で「暮れの市」が開催された。当日は元気会のメンバーが早朝より会場を準備し、定刻5分前の開店となりました。

事前予約客120数名を含めて約300名のお客で賑わいました。

元気会のメンバーの皆さまは事前の準備段階からご苦労さまでした。また売上益より毎年夏の「大



一息ついた販売所風景

みか祭り」への高額な寄付金の実施は、頭の下がる思いです。今年の販売品は金時豆・小豆・大豆・黒豆・長芋・じゃがいも・玉ねぎを北海道十勝の幕別農協より直接取り寄せ販売致しました。

取材 広報部

編集後記

町内会を解散すると、市報を読み続けるのは難しい。手に入れるにはコミセン・コンビニ・JR駅構内に置いてある。市民としては、市からの情報を知る為に読むことは大切な事です。

3.11が風化しつつある中、防災訓練は大切にしましょう!川又記